

コンセプトに基づいた整備

■老朽化施設の改善

- ・耐震補強(RC壁増設)
- ・内外装全面改修
- ・基幹整備

■ユニバーサルデザイン

- ・玄関スロープ
- ・多目的トイレ
- ・エレベーター

■環境配慮の取組み

- ・遮熱シート防水及び屋上緑化
- ・壁面緑化
- ・光触媒抗菌塗装
- ・F☆☆☆☆製品使用
- ・高効率照明器具(Hf型)、LED照明器具
- ・スイッチ+人感センサー制御
- ・高効率トランスに更新
- ・全熱交換型換気扇
- ・節水型衛生器具
- ・飼育室にRATS(実験動物飼育室気流保持システム)を採用

■施設概要

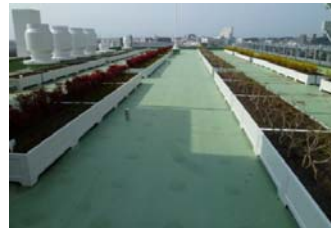
- 南棟 構造・階数 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階
延床面積 3,410㎡
- 北棟 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上3階
延床面積 1,990㎡

6階	飼育用滅菌水作製装置・空調機器	
5階	ウサギ・イヌ飼育室・手術室	
4階	実験室・レンタルラボ・居室	
3階	解析機器・感染動物飼育室・アニマルバンク	マウス飼育室
2階	マウス・ラット飼育室	マウス飼育室
1階	事務室・研修室・水棲生物飼育室	玄関 洗浄室・ボイラー室
	南棟	北棟

渡り廊下



■多目的トイレ



■遮熱シート防水及び屋上緑化



■壁面緑化



■LED照明



■RATSシステム

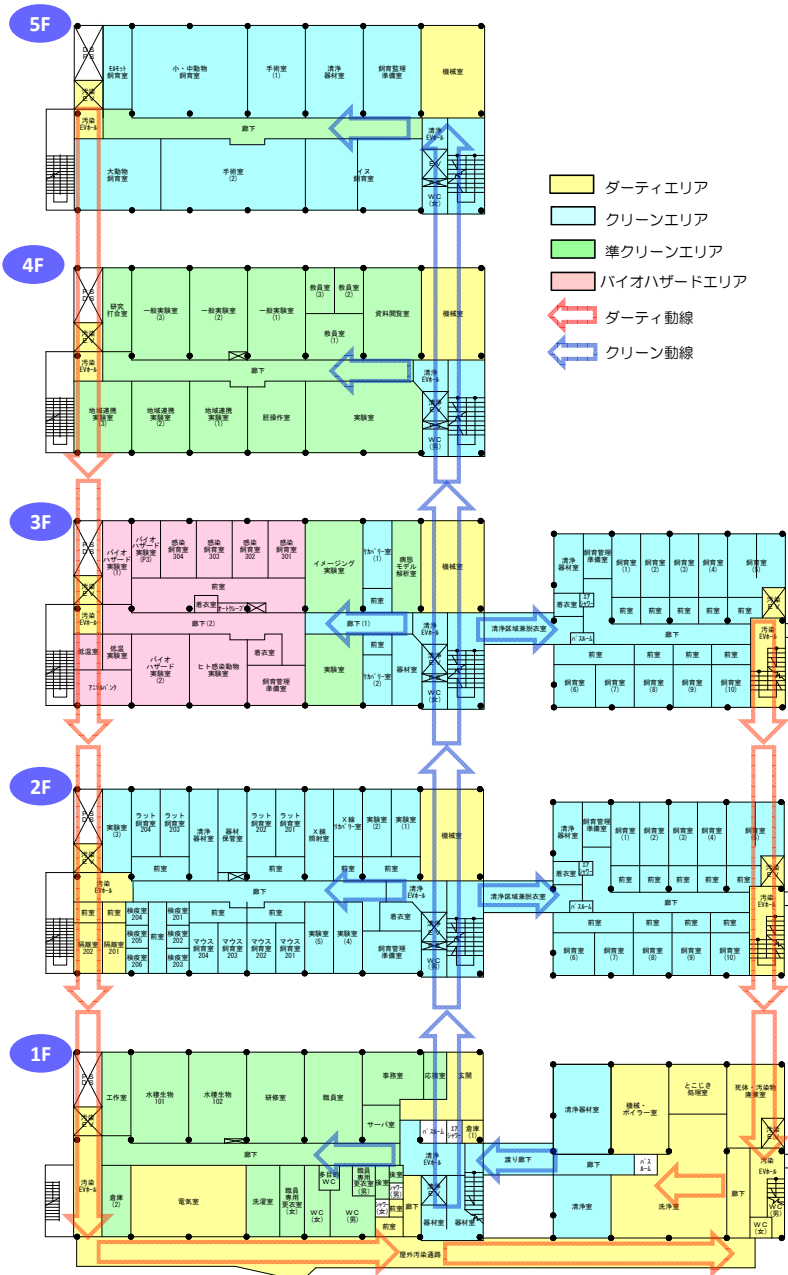
平成23年度 三重大学生命科学研究支援センター 動物実験施設改修整備概要



改修前

○老朽施設の機能改善

- ・汚染エリア、清浄エリア、準清浄エリア、バイオハザードエリアの各エリアの区分を明確にし、施設利用者及び実験動物の移動による細菌等の感染拡大を防止するような動線を考慮した平面計画とする。
- ・最先端の生命医学研究に対応できるよう、SPF飼育室等の整備、一方向気流空調システム等の基幹整備等を行う。
- ・旧耐震基準で設計された北棟の耐震補強を行うことにより、安心安全の確保を行う。



マウス飼育室



手術室



マウス飼育室



外部汚染通路

地域連携実験室



バイオハザードエリア



正面玄関

